



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 1号

令和2年4月13日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

令和2年度の前向きなスタートを

校長 佐竹 康子

4月14日から再び臨時休校となります。

美しい桜の花が咲き誇る中、規模を縮小しての入学式ではありましたが、無事に23名の1年生を迎えて、荻生小学校全校148名の子供たちが揃い、令和2年度がスタートしたばかりでした。入学式前日には国の「緊急事態宣言」が出され、さらなる外出自粛を要請されるなど、だれもがこれまで経験したことのない日々を過ごしながらも、季節の移り変わりや新年度の喜びを感じていた矢先です。



残念な新年度のスタートにはなりましたが、今は一人一人が健康と安全を第一に考えて行動する必要があります。それぞれが「自分の力を蓄えるとき」と考えて、「一人でできること」に楽しさを見つけていきましょうと、子供たちを励ましています。

密集を防ぐため、集会ではなく、放送で以下の内容をお話しました。

先生たちは、いつもみなさんに、仲間と一緒に遊んだり勉強したりすることが大事だと言っています。友達と協力して活動したり、友達と話し合うことで他の人の考えを聞いて自分の考えを深めたりすることはとても大切なことです。この大切なことに変わりはありませんが、これからの臨時休校の間、①自分の健康と安全のために、外出を控え、お家で過ごしてください。それがみなさんの大切な命を守ることとなります。また、②これまでと同じように、毎日の検温、手洗い、マスクの着用等によって自分の健康を守るためにがんばってください。そして、③自分が一人でできることを増やしてください。一人でできることに楽しさを見つけてください。

外出できない今は、お家で自分の力を伸ばすチャンスです。自分がどれだけがんばれるか、自分が試される期間になります。どこにいても荻生小学校の将就の教え「一日一日の努力を積み重ねると、時を経て立派になる」という教えを忘れずに、前向きにがんばりましょう。今より立派になった皆さんに、元気に全員そろって会える日を楽しみにしています。

荻生小学校に代々受け継がれてきた将就の教えは、長い歴史と伝統に裏付けられ、新しい時代の荒波の中でも、子供たちの心の拠り所となり、決して揺らぐことはありません。「やさしく かしこく たくましい荻っ子」の育成を目指し、教職員が一丸となって笑顔あふれる学校づくりに努めてまいります。本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

着任式・始業式を行いました — 4月6日（月） —

《離任教職員》大変お世話になりました

校長 高岡 薫（黒部市立たかせ小学校へ）
教諭 岸 泉（黒部市立若栗小学校へ）
教諭 山本 千夏（黒部市立村椿小学校へ）
臨任講師 長谷川 昌代（黒部市立宇奈月小学校へ）
校務助手 村井 久留美（黒部市立宇奈月小学校へ）



《着任教職員》よろしくお願ひします

校長 佐竹 康子（黒部市立生地小学校より）
教諭 塩田 昌彦（黒部市立中央小学校より）
教諭 飛弾 英樹（黒部市立たかせ小学校より）
教諭 朝倉 真樹子（黒部市立鷹施中学校より）
教諭 広田 雅（新規採用）
校務助手 吉松 弘美（黒部市立中央小学校より）



入学式を行いました — 4月8日（水） —

満開の将就桜の下、令和2年度の入学式が行われ、元気な23名が荻生小学校児童の仲間入りをしました。式の間、姿勢がとてもよく、落ち着いた立派な態度でした。早く小学校での生活に慣れ、いろいろな場面で活躍してほしいと思います。



登校再開の際の家庭へのお願い

・登校を7時40分から7時55分までの間に

子供たちの登校時間を7時40分から55分までとします。お子さんの登校が早すぎると、安全上（校舎内、登校中の事故など）対処できないことがあります。ご家庭の事情もおありかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

・黄色の安全帽をかぶり、安全に登校を

登下校中一番心配なのが、交通事故です。黄色の安全帽をかぶることによって、運転者は遠くからでもお子さんの存在が分かり、子供自身は交通安全の大切さを意識することができます。登校前に安全帽の着用を確かめていただき、家の方からの温かい言葉で送り出してください。また、学校前の道路は、朝7～9時まで許可車以外は通行禁止となっていますので、十分にご注意ください。

学校だより『荻の里』を発行します。学校の方針、ご家庭へのお願い、子供たちの様子等を掲載いたします。学校の様子を知り、ご家庭での話題の一つにしていただければ幸いです。合わせて荻生小学校のHPもご覧ください。「荻生小学校」で検索できます。